

令和6年度 評価規準

学 年	科目名	単位数	担当者名	使用教科書・副教材
第2学年	文学国語	2	千葉 彩未	新編 文学国語
内容（1）言葉の特徴や使い方に関する事項				
知識・技能	<p>ア 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。</p> <p>イ 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>ウ 文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。</p> <p>エ 文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。</p>			
主体的に学習に取り組む態度	<p>言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身に付けている。</p>			
内容（2）我が国の言語文化に関する事項				
知識・技能	<p>ア 文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。</p> <p>イ 人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。</p>			
主体的に学習に取り組む態度	<p>言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身に付けている。</p>			
内容 A 書くこと				
思考・判断・表現	<p>ア 文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にしている。</p> <p>イ 読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。</p> <p>ウ 文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫している。</p> <p>エ 文章の構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。</p>			
主体的に学習に取り組む態度	<p>言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身に付けている。</p>			
内容 B 読むこと				
思考・判断・表現	<p>ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。</p> <p>イ 語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。</p> <p>ウ 他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している。</p> <p>エ 文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。</p> <p>オ 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。</p> <p>カ 作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。</p> <p>キ 設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。</p>			
主体的に学習に取り組む態度	<p>言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身に付けている。</p>			